

いろいろ火の里



みかわ

ざがい

地域が支える

伝
統

町をより良くするために
声を出せば まちは動く
高齢化 公園管理にも影響
高校生への通学支援を
町内会の「困りごと」に補助
『手仕事』で町に賑わいと笑顔を

小学生との議場懇談会	P 2～3
議員と語る会	P 4～5
6月定例会・臨時会	P 6～7
一般質問	P 8～17
所管課等研修	P 18～19
シリーズ⑥「がんばってます」 みかわ de マルシェ	P 20

No.174
6月議会
2026.
7.15



たちができること・したいこと

年生67人を迎え、町議会議員との懇談会が行われました。
 っかりと発表し、活発な意見交換が行われました。

横山小

自然豊かな住みやすい
 町にしたい

三川町には美しい自然
 がたくさんあるので、そ
 の自然を生かしてよりい
 い所にしたから。

アイデア

植物を大切にし、ごみ
 拾いや自然を守る呼びか
 けポスターを作る。

歴史・伝統について

若い人も歴史に興味を
 もち、ふるさとを大事に
 できるようにしたい。

アイデア

歴史跡をめぐれるよう
 な観光マップを作りたい。



横山小 6年
 むとう まな
 武藤 愛奈

三校が集まり、議
 員の方々と懇談する
 のは初めてだったの
 で、ものすごく楽し
 かったです。提案す
 る時はまちがえたり
 しないか不安でした
 が、自分の提案を上
 手に伝えられたなと思いました。他
 の学校の考えも工夫されていてすご
 いなと思いました。議員の皆さんか
 らは、提案に対して丁寧に答えてい
 ただき、とても勉強になりました。
 これからの話し合いでも、懇談会
 のようにはっきり自分の意見を伝え
 たいと思いました。

安心・安全で楽しい 町づくり

様々な人を楽しめる三川
 町を訪れてほしい。庄内地
 域には観光客が少ないので、
 もっと多くの人に訪れてほ
 しいと思ったから。

アイデア

三川町の楽しいところ、
 いいところを動画に撮っ
 て宣伝してみたい。動画
 のQRコードをイオンの
 スクリーンに映して動画
 を見られるようにして広
 めたい。



東郷小

安全できれいな三川町

通学路などにペットボ
 トルや缶、タバコの吸い
 がらが落ちていたり、歩
 道に石や土がちらばって
 いたりして、自転車に乗
 るときなどあぶない。

アイデア

①登下校中に道に落ちて
 いる石やごみを拾った
 りしていきたい。

②ごみを捨てないなどの
 ポスターを作り、町を
 きれいにしていく意識
 を広げたい。

楽しくにぎわう三川町

きれいな公園や、楽し
 める場所があるというこ
 とを県内外の人に伝えて
 沢山のの人に足を運んでも



東郷小 6年
 たかはし りつき
 高橋 律貴

議会では議
 員の方々に自
 分たちの考え
 を提案しまし
 た。議場に座
 って話し合い
 をしていると、
 本当に議員に
 なったようできん張しまし
 たが、町をより良くするために
 真剣に話し合うことができました。
 自分たちの意見もより
 良い町作りにつながるかもしれ
 ないと感じ、地域のことに
 もっと関心を持てる気がしま
 した。これからの学校生活に
 も活かしたいです。

アイデア

①町外・県内の人に三川町
 の魅力をチラシなどで
 伝える活動を行いたい。

②地域の公園の草取りや
 トイレの掃除を行い遊
 びに行きたい公園作り
 をしたい。

人がつながる親切な 三川町

自分の地域以外の人と
 の関わりが少ないのでた
 くさんの人とながりを
 増やしていきたい。

アイデア

①登下校中にすれ違う人
 には、進んであいさつ
 をしていきたい。

②三川町で行われている
 イベントに積極的に参
 加して町内の人とな
 がりを深めていきたい。



三川町をよりよくするために自分

6月24日三川町議会議場にて横山・東郷・押切の小学6
各小学校で話し合った内容の提案や要望などをし

他校の発表が
すごく分かりや
すく、少し不安
になりました。
けれど押切のみ
んなで発表し、
緊張に負けずに
上手に発表でき
ました。



押切小 6年
なりた る い
成田 流惟

今回、自分たちで三川町のこ
とを考えることで、三川町のた
めになっていくということを感じ
ました。これから、のぼり旗
やPR動画の作成など、実行でき
ることは何か、押切のみんなで
考えていきたいです。

地域みんなが大きな
声で明るくあいさつでき
れば、犯罪が減って安心
できる、安全な町に
明るいいあいさつが
できる、安全な町に

②自動販売機の隣、公園、
公民館の外などにゴミ
箱を設置し、ポイ捨て
が無いようにする。

①「清掃ボランティア」を
募り、地域の人と一緒
に清掃活動をするこ
とで、町をきれいにしよ
うという意識を広げる。

「アイデア」

普段公園で遊んでいる
ときにごみが落ちていて、
気持ちがよくないから。

いつでもゴミなく
きれいな町に

押切小

②地域の店に、自分たち
がおすすめする食べ物
や商品を紹介したポッ
プを掲示してもらう。

①町内の6年生が、動画
や写真で三川町のよさ
を紹介する。

「アイデア」

「ここに住みたい」「遊
びにいきたい」と思っ
てもらうことで、三川町に
来てくれる人が増える
と思う。

全国の人に興味を
もってもらえる町に

②町の中に暗いところ
があるので、街灯を設
置したい。

①あいさつに関する内
容の旗を作る

「アイデア」

して暮らせる町になる。



議員の感想

今回は6年生の皆さんと意見交換できて、議員一同、たいへん
うれしく思っています。

町の現状にあった意見が多く、よく町のことを勉強しての意見
だと感じましたし、大人では気づかない、皆さんらしい提案も多
くありました。自分たちに何ができるか考えたうえでの前向きで
積極的な発表が多くあり、うれしく思いました。

これからも町のことや身の回りのことに関心をもって、感じた
ことを大切にしてほしいと思います。そして、いつかこの議場に
戻ってくれたらと思います。
(副議長：鈴木重行)

学校でがんばっていること

横山

横山小 児童会スローガン
「仲良く元気に、笑顔があふれる楽しい学校」

東郷

東郷小 児童会スローガン
「協力・けじめ・思いやりあふれる東郷小」

押切

押切小 児童会目標
「助け合いできずく、笑顔あふれる押切小」



ちは動く

(木) 19:00~20:30 テオトル

今年は 9 人の方々と一緒に、
いろいろなテーマについて語
り合いました。これまでの課
題はもちろんのこと、新たな
問題点の指摘など、時間が足
りないと思える有意義な座談
会となりました。



◎小学5年生の子どもが、3時で
家を出て、4時頃に帰宅するこ
ともある。
子どもたちのニーズにあった公
園が欲しい。

◎公立高校への通学手段が大問
題！乗り合いバスは朝早過ぎる
し自転車通学はつらいものがあ
る。結局、家族送迎が当然とい
う子どもたちの表情。

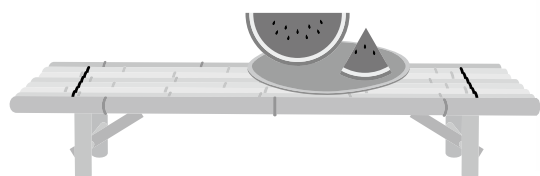
◎三川町育英奨学資金制度は、海
外留学生を対象にした前例がな
いと断られたが、納得できない！

◎三本木町内会の桜の木対策とマ
ンホール騒音の解決を望みます。

◎建設環境課からの回答
町道のマンホール対策について
は、対応します。

◎教育委員会からの回答
国の法律に規定されている学校
等に限定されていますが、今後
育成奨学資金運営委員会にて検
討します。

高校バス通学は、
早朝すぎて不便





声を出せば ま

議員と語る会：6月11日

◎町民体育館の、身体障がい者対策が不十分であることを、再認識すべきです。



◎空き家にハクビシンが住み続けているので、町で対処すべき。

◎小学校スクールバス乗車対象児童の範囲を全員にすべきと思う。

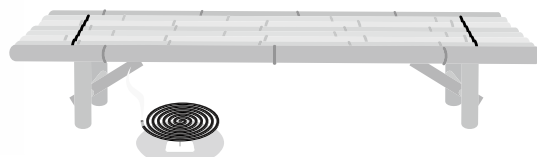


◎町道法面の草刈り対策は、町の町道管理として実施すべき。

◎放課後の遊び場として体育館を開放して欲しい。

◎建設環境課からの回答
個人の財産に対して町が直接対応することは、むずかしい問題があります。

**町民体育館は、
身障者対策が不十分**



影響にも理

6月
定例会



業者委託となった袖東公園

第4回議会定例会は6月3日から9日までの会期で開会されました。諸般報告2件の後、町長提案5件が上程され原案通り可決されました。また請願1件が審査され賛成少数で不採択となりました。一般質問は9人の議員が町政全般について質問しました。

一般会計補正予算

932万8千円を追加し、53億9862万8千円となりました。

【主な内容と質疑】

●総務費

戸籍システム推進事業に104万円増額。

問 事業の内容は。

町民課長 戸籍の個人氏名に振り仮名を付けるための調査に基づきシステムに載せるための作業を委託するものです。

●土木費

公園費に袖東公園管理業務委託99万円を計上。

問 袖東公園の管理を業務委託する理由は。

建設環境課長 令和7年度までは、袖東公園の維持管理は町内会で行っており謝礼として払っていましたが、日常維持管理をされている方々の高齢化等で出来なくなっているとの申し出を受けて、令和8年度からは業者への委託とするためです。

介護保険 特別会計補正予算

118万8千円を追加し、9億1288万8千円となりました。

【主な内容と質疑】

●総務費

一般管理費に118万8千円増額。

問 電算処理委託料の内容は。

健康福祉課長 特定入居者介護各予防についてのサービス利用要件の変更にとまなうシステム改修にかかるものです。

条例改正

三川町監査委員条例等の一部を改正する条例の設定について

【提案理由】

地方自治法の一部を改正する法律及び地方自治法施行令等の一部を改正する政令の公布に伴い、三川町監査委員条例、三川町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例、三川町下水道事業の設置等に関する条例の一部条文を整理するもの。

事件案件

◎除雪ドーザ(11t級)の取得について

・契約の方法

指名競争入札による契約

・契約の金額

1914万円

・契約の相手方

コマツ山形株式会社庄内支店(酒田市)

【主な質疑】

問 中東情勢の影響で塗料やシンナー等の資材不足がある中で、納期への影響は。

建設環境課長 令和9年3月19日までの納入の確約がとれています。

問 狭い敷地での保管の在り方は。

建設環境課長 今後の課題として検討していきます。

人事案件

三川町固定資産評価審査委員会委員

小林 優 (横山上)

臨時会

第3回議会臨時会が5月7日に開会され、町長提案7件が上程され原案通り可決されました。

【主な内容と質疑】

◎循環型手洗い器の取得

・契約の方法

指名競争入札による契約

・契約の金額

904万2千円

・契約の相手方

株式会社大滝商会(鶴岡市)

問 使用目的は。

危機管理室長 災害発生時の避難所等で、少ない水の量で多くの人が手洗いができるように、衛生環境を保持するためです。

◎みかわ保育園・幼稚園
幼稚園棟及び管理棟屋根改修工事

・契約の方法

指名競争入札による契約

・契約の金額

5335万円

・契約の相手方

阿部工務店(三川町)

高齢化 公園管



町内に広がる田んぼ

請願審査

請願第1号

「食糧法の見直しをやめ、国が主食の価格と需給に責任をもち、国民への安定供給を支えるに十分な備蓄を行うことを求める意見書提出に関する請願」

賛成

砂田 茂

反対

志田徳久

小林茂吉

小野寺正樹

佐久間千佳

佐竹優子

鈴木淳士

土田市子

鈴木重行

賛成討論

砂田 茂議員

「需要に応じた米生産」の法定化は、政府による需給調整を放棄し米価の安定の責任を農家に押し付けるものです。国は国民の主食に責任を持つべきです。

また報告徴求など、小売りや中食・外食事業者を含め流通の最終段階まで一律に義務を課すことは、制度の目的との関係で合理性に疑問があります。これまでの備蓄の定義「米穀の生産量の減少によりその供給が不足する事態に備え」から「米穀の供給が不足する事態に備え」への変更は、コメであれば外国米でも構わないとなります。

本請願は、主食である米の生産から、流通、供給、備蓄までの安定を求めるもので、農業を主要な産業とする本町議会からも声を上げることは重要であり賛成討論とします。

反対討論

小林茂吉議員

衆議院農林水産委員会では、食糧法の見直しに対し、主に7つの事項を政府に求めた附帯決議を行っています。

内容は、不作や災害といった供給側のリスクへ備えたこれまでの備蓄制度から「平時の流通把握」と「不足時の初動の速さ」まで含めた安定供給を支える法律へと役割を広げています。

また、備蓄の増強は政府が自らできる需要の創出との認識であり、供給過剰より、不足を防ぐことに重点を移されています。これは消費者にも支持される農業政策です。

今後予想される農家の減少に備え、余力ある産地が生産能力をフルに発揮できる生産努力を損なわない形でのセーフティネット拡充などの食糧法改正案は、2025年のコメ高騰の反省を制度の形にする大きな一歩です。

読者の窓

議会広報誌をよく読むページや気になる取り組みはありますか？

一番目のページから見て、自分に関係しそうなところを読んでいきます。

議員の質問の意図や議論の内容が伝わる内容の記事になっていましたか。また、分かりづらい記事等はありませんでしたか？

もし専門用語が入る時は、注釈のようなものをいれていただくか、わかりやすい言葉をお願いします。

より読みやすい、手にとりやすい広報誌にするためにはどのような取り組みが良いかアドバイスを聞かせください。

写真もあり、見やすいと思います。三川の中で何に取り組んでいるか知ることになり情報収集の1つになります。



清水 史恵さん
(猪子)

反対討論

佐久間千佳議員

去る6月3日に衆議院を通過した「食糧法改正案」では、いわゆる「令和の米騒動」と呼ばれるコメ価格の高騰や店頭での品不足、政府備蓄米の放出の遅れといった課題を受け、流通実態の把握強化や備蓄制度の根本的な見直しが行われるものと考えます。

民間備蓄の導入や、米の在庫に関する報告徴求については、多様化する流通に対応した実態把握の強化と、官民一体となった機動的な備蓄体制の構築による「今後の安定供給」につながるものと考えます。

よって本請願の願意には賛成いたしかねます。

町政を問う

一般質問

6月定例会



一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

6月5日と8日、9人の議員が質問した項目のうち2項目を掲載しています。

佐竹 優子 議員

(9ページ)

- 外部人材と連携し課題解決を
- 将来を見据えた下水道事業の在り方を

小林 茂吉 議員

(10ページ)

- 健康福祉行政の要は
- 「健幸アプリ(仮称)」の活用で皆が元気なまちを

土田 市子 議員

(11ページ)

- 高校生等の通学費に支援を
- 町の事業に男性参加者の増加策は

小野寺 正樹 議員

(12ページ)

- 農地を守る取り組みを
- 新技術導入の現状と課題は

佐久間 千佳 議員

(13ページ)

- 自主財源の確保は
- 時代に即した組織・機構の見直しを

砂田 茂 議員

(14ページ)

- 「非核平和宣言の町」の学習は
- 教育の機会を保障

志田 徳久 議員

(15ページ)

- 保育施設の今後は
- 消防団員の減少対策を

鈴木 重行 議員

(16ページ)

- 8年産米の作付け動向は
- 熱中症対策の徹底を

鈴木 淳士 議員

(17ページ)

- 町当局による町内会運営支援策を
- 空き家の寄附受け入れと行政代執行を



議会ホームページの
一般質問はこちらから
(音声配信中)

(8) 17
ページ
まとめ

小野寺
正樹・土田
市子

外部人材と連携し課題解決を

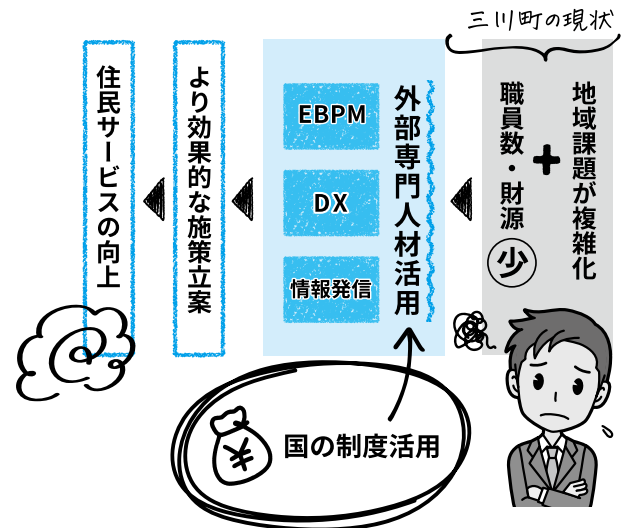
町長 専門分野、必要に応じて検討する



さ た け ゆ う こ
佐 竹 優 子 議員

問 複雑化する行政課題やDXへの対応、データや根拠に基づく政策立案(※EBPM)の推進についての考えは。

町長 人口減少や少子高齢化、住民ニーズの多様化など、行政課題が年々複雑化・高度化しており、DX対応では専



※EBPM…データや調査結果などの客観的な根拠をもとに、効果的な政策や事業を考え、改善していく手法。

専門的な知識や技術が求められる分野が増えている。

限られた財源での効果的な施策推進には、EBPMの視点が重要だと認識していますが、データ分析や専門知識を有する人材の確保・育成には課題もあります。

本町では、限られた職員体制の中で幅広い業務を担っていることから、専門分野に継続的に対応していくことは容易ではない状況にあります。

問 民間の専門人材を派遣する国の制度を活用しては。

町長 受け入れ体制の整備や業務の整理、費用負担、継続性の確保などの課題もあり、現時点での導入を進める考えはありませんが、町の方向性に関わる計画策定や専門的知識が特に必要となる分野については、必要に応じて連携・活用を検討していきます。

将来を見据えた

下水道事業の在り方を

問 下水道施設の老朽化の現状と、設備や管渠等の更新予定は。

町長 包括業務委託により維持管理を実施し、必要に応じて修繕や機器更新を行っています。管渠は現時点で更新の計画はありませんが、管路清掃やカメラ点検を実施し、適正な維持管理に努めています。

問 今後の投資・財政計画の方向性と、将来的な下水道料金の考え方は。

町長 今年度は計画を策定し、将来の下水

道事業の在り方を検討することになっています。

年間約4億円の事業規模に対し使用料収入は約1億2千万円にとどまり、不足分のうち約1億6千万円を一般会計からの補助金等で賄っています。

今後は人口減少による収入の伸び悩みや維持管理費・更新投資の増加が見込まれることから、受益者負担の原則との整合を図りつつ、将来を見据えた下水道使用料の設定を検討していく考えです。



下水道は住民生活に欠かせない重要インフラ

健康福祉行政の要は

町長 誰一人取り残さない必要な支援に努める



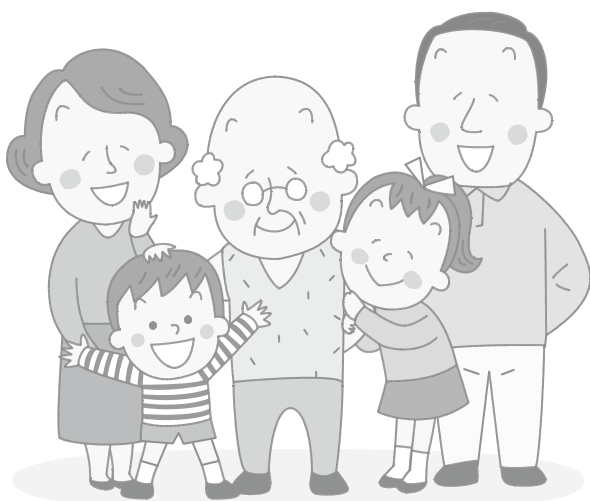
こばやし しばよし
小林 茂吉 議員

問 地域共生社会の実現に向け、多様な分野を超え連携した包括的支援体制の考えは。

町長 福祉サービスを必要とする方々が、複数の支援ニーズを抱えているケースが多くあることから、地域で切れ目なく支援を受けられる体制を整備することが極めて重要と認識します。

問 8050問題や育児・介護のダブルケア、学業への影響が心配されるヤングケアラー的な生活環境など、既存の制度では対応できない複雑・複合的なケースに重層的支援体制整備事業を導入すべきでは。

健康福祉課長 各関係課が連携を図り、個々の分野に応じた支援を行う体制が一定程度整っていると捉えています。



優しい福祉のまちづくり

今後は生活課題の複雑化が一層見込まれることから、既存の個別対応だけでは十分とは言えず、国が進める重層的支援体制整備事業の導入の是非や運用方法について、慎重に対応していきます。

「健幸アプリ（仮称）」の活用で
皆が元気なまちを

問 「みかわマイチャレ事業」は町民の健康づくりに大きく寄与しています。新たなデジタルツールを活用したアプリの導入は。

町長 住民の健康啓発や運動習慣の促進は重要です。無料で利用できるアプリも数多く存在しておりますが、専用アプリを導入した場合の費用対効果の面や、即効性のある成果等、住民の健康づくりに資する方策を整理しつつ、効果的な取り組みとなるよう対応していきます。

△開発を進めるべきでは。

健康福祉課長 「みかわマイチャレ」は、これまで主に高齢者が対象でしたが、今年度から対象者を20歳以上に引き下げています。

健康管理に関する多様な分析機能や価値用の仕組みが備わった専用アプリの導入についてはタイミングをみて慎重に検討していきます。

問 自分の生活機能基本チェックリストや体力測定をセルフチェックで自身の健康状態を計測し、「見える化」「気づき」を促すシステム

めざせ健康長寿日本一！

みかわマイチャレ事業

☆令和8年リニューアル☆
三川町にお住まいの20歳以上に対象者拡大

- ① マイチャレの登録
- ② ポイントを貯める
- ③ 賞品をもらう

健康づくりでポイントためると
500円分商品券＋特典のプレゼント

高校生等の通学費に支援を

町長 定期券購入費補助へ前向きに検討



つちだ いちこ
土田 市子 議員

問 致道館中学や高校生の通学には家族の送迎、または自転車を利用していますが、家族の都合がつかない生徒や冬期間の積雪時にはバス利用されている生徒がいます。

町として通学費への支援の考えは。

町長 交通弱者である中・高校生への支援と、公共交通の利用促進の両面を踏まえ、バス通学や電車通学を含めた定期券購入費の支援について、制度設計や財政負担なども含め前向きに検討を進めたいと考えています。



中・高校生通学に支援を

問 路線バスの乗車人数も減っている現状で中・高校生のバス通学は公共交通の維持に繋がると思われますが。

町長 地域公共交通を維持していくためには、日常的な利用の確保が重要であり中・高校生の通学でのバス利用は、公共交通の利用促進という観点からも意義のあるものと考えています。

問 バス停から遠い町内会の中・高校生が最寄りのバス停までデマンドタクシーを使い路線バスへ乗り継ぎが可能になるようにできないか。

企画調整課長 デマンドタクシーは、いちばん早い時間が午前九時であり通学への利用は適していない状況です。
今後は、利用ニーズや運行体制、費用面などを踏まえながら、より利用しやすくなるように検討を進めていきます。

町の事業に

男性参加者の増加策は

問 地域支援事業において男性参加者が少ない状況が続いていて健康寿命への影響が懸念されるため参加者を増やすことが必要と考えますが取り組みは。

町長 男性の参加が比較的に少ないことは、長年の課題と認識しています。対応には開催時間の多様化や週末・夕方など参加しやすい時間帯の

設定や環境を整える等、関心の持てるテーマやプログラムの充実を図る必要があると考えています。
筋力トレーニング、その他スポーツ等、また生活習慣病予防に直結する健康講座、体験型イベントなど、参加して成果を実感できる内容を取り入れ男性参加者増加を図りたいと考えています。



多くの男性の参加を望む

農地を守る取り組みを

農業委員会会長 パトロールを中心に監視



農業委員による農地パトロール



おの であ まさ き
小野寺 正樹 議員

問 外国人による農地の取得及び、賃借権設定など、権利移動と雇用就農の実態は。

町長 賃借等の手続きを行っている営農されている事例はありますが、それ以外による権利移動の事例はありません。外国人の雇用就農については、全国的には外国人材の雇用を受けている事例があると聞いています。

問 農地台帳等への国籍情報の記録及び

管理体制は。
農地法に基づく申請手続きにおいて、国籍についても確認して

いるところであり、農地台帳での管理を行っています。

新技術導入の現状と課題は

問 除草剤等が、隣の畑や田んぼに飛散する問題についての認識は。

町長 有機栽培や特別栽培に取り組む農業者にとって、栽培認証の継続に関わる重要な課題であると認識しています。本町では、各地区のヘリ防除組合が共通の安全管理マニュアルに基づき防除作業を行っており、風速や風向きについて有機圃場などへの配慮や適切な対応が図られていると承知しています。

問 賃貸借時に周知するなどしながら農地維持・保全のため取り組んでいきます。

耕作者の判断のみで一方的に行うことについては、土地所有者との信頼関係を損なうおそれがあるほか、将来農地を返還する際に境界確認や原状回復作業などの課題が生じる可能性もあるため、形状変更については、土地所有者と耕作者の双方が納得したうえで行われるべきものと捉えています。

町長 本町においても、農作業の効率化を目的とした圃場の形状変更が行われるようになってきました。

新技術導入には、省力化やコスト削減につながる技術として、有効な栽培方法の一つであると認識しています。

町長 十分な情報共有や事前調整が行われず、地域でのトラブルにつながっている事例があると伺っています。



大型機械による除草剤散布

自主財源の確保は

町長 新たな財源確保に努める



さくま ちよし
佐久間 千佳 議員

問
財源の創出と堅実な財政運営として、自主財源の確保について具体的な方策は。

町長
現時点での具体的な方策として、広報紙への有料広告の掲載拡大を図るほか「ふるさ



積極的な自主財源確保策を
(クラウドファンディングイメージ)

※クラウドファンディング…インターネットを通じて不特定多数の人々から少額ずつ資金を集める仕組み。

と応援寄附金」の拡充に向け、令和8年度以降新たにクラウドファンディングの導入を検討しています。

町長 本町が抱える具体的な課題やプロジェクトを明確にし、その取り組みに共感・賛同いただいた方々から広く寄附を募りますが、財源確保のみならず、本町への関心を高めていく仕組みとして構築したいと考えています。

問 公共施設等へのネーミングライツ（命名権）の導入の考えは。

総務課長 維持管理費用の一部を企業側から負担していただくものなので、本町の施設に対する広告の効果や魅力の有無も調査しなければならな

いと思っています。

企業と町がお互いに良い取り組みとしてご理解いただけるようであれば、先進事例を学びながら研究したいと思っています。

時代に即した

組織・機構の見直しを

問
組織・機構の効率化は。

町長
これまでも国が進める「こどもまんなか社会」を体现するため、令和4年度に「子育て支援室」を設置し、令和7年度には、激甚化する災害へ迅速かつ円滑に対応するため、「危機管理室」を新設するなど、多様な行政課題に対して組織の最適化と柔軟な体制整備を図ってきました。

今後とも、住民ニーズや社会情勢の変化を的確に捉え、機動的な組織運営に努めます。

副町長
小規模な自治体で人材に限られていることから現時点では難しいと感じます。

一方、小規模だからこそ他課の状況を把握している職員が多くいるので、連携を取りながら住民サービスの継続に取り組んでいきます。

問
今の人口減少社会に対応するため、部局横断的な事業推進を図る副町長直轄の「地



人口減少社会に即応した組織整備を

「非核平和宣言の町」の学習は

教育長 憲法学習の中で学んでいる



すなだ 砂田
いげる 茂 議員

問 三川町は、1985年3月18日に「非核平和宣言の町」をしています。学校教育への取り入れ状況は。

ぶ中で、憲法にはどのような考え方があのか、くらしにどんなつながりがあるのかを学習しています。

る「平和の誓いは、二度と戦争をしないという国民の決意を示したものだ」といった考え方に基づいた学習をしています。

また中学校では、3年生の公民の教科書で第9条の「戦争を放棄して世界の平和のために努力する」という平和主義を掲げたことや、「持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則も学習しています。

教育長 学校教育に直接取り入れてはいませんが、「世界の恒久平和は人類共通の念願である」としているこの宣言の精神・主旨は、平和主義を定める日本国憲法を学習する中で学んでいます。

問 「戦争の放棄」についての学習内容は。

教育長 小学校では、6年生の社会科で日本国憲法の三つの原則である「平和主義」「基本的人権」「国民主権」を学



庁舎前に掲げられていた「非核平和宣言の町」

教育の機会を保障

問 就学援助制度についての認識は。

教育長 法の規定に基づいた「三川町就学援助費支給規則」を定め、必要な費用の援助を行っています。

これにより義務教育の円滑な実施を図ることが可能となり、経済的な理由に関わらず全ての児童生徒が安心して学ぶことができ、教育の機会等が

問 就学援助の認定基準と認定率及び周知方法は。

教育長 三川町では、所得が生活保護基準額の1・5倍以下の世帯を認定対象としており、認定率は小学校で3%程度、中学校で4%程度となっています。

また周知については、毎年10月に保育園や幼稚園等、及び小学校を通して各家庭に「就学援助制度についてのお知らせ」を配布しています。

援助の内容

援助の費目	年上限額 (小学校)	年上限額 (中学校)
学用品費	11,630 円	22,730 円
通学用品費 (第1学年を除く)	2,270 円	2,270 円
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	1,600 円	2,310 円
校外活動費 (宿泊を伴うもの)	3,690 円	-
生徒会費	4,650 円	5,550 円
PTA 会費	3,450 円	4,260 円
新入学児童生徒学用品費等	57,060 円	63,000 円
修学旅行費	22,690 円	60,910 円
給食費	実費	
オンライン学習通信費	1世帯に 15,000 円	



保育施設の今後は

教育長 持続可能な保育体制を確保



しだ とくひさ
志田 徳久 議員

問

問 少子化による園児数の減少や民間保育施設との役割分担等を踏まえ、町の幼児教育保育施設の今後の在り方は

教育長

教育長 町全体として持続可能な保育体制を確保するためには、民間保育施設が安定して運営されることが重要であり



保育園で元気に遊ぶ子ども達

入園調整においても、民間施設に受け入れの余裕がある場合は、そちらを優先しています。

一方で、兄弟が公立のみかわ保育園幼稚園に在園している場合には、家庭の負担軽減を考慮し、同施設への入園調整を行っています。

また、公立施設については、途中転入や支援が必要な家庭への対応など保育の円滑な運営において重要な役割を果たしています。

今後も保護者の声を丁寧
に把握しながら、民間
保育施設との役割分担や
公立施設の機能、財政面
などを総合的に踏まえ、
持続可能で質の高い保育
体制の確保に努めます。

消防団員の減少対策を

問 消防団員の減少が進んでいるがその対策は。

町

消防団員は208名で昨年度より12

名で昨年度より12名減少しています。この傾向は数年来続いています。団員の減少は地域防災力の低下に直結するもので、現状に強い危機感をもっています。

本町では、これまでも
団員報酬の引き上げや待
遇改善、各種事業の見直

しによる負担軽減、女性消防団員や機能別団員の確保に取り組んできました。

この課題は一朝一夕に解決できるものではなく、団員が誇りをもつて活動できるよう、また、住民にその重要性を再認識していただけるよう、広報活動の充実を図り、消防団とも協力しながら確保に取り組んでいきたいと考えています。



春の消防演習

8年産米の作付け動向は

町長 県の目安に基づく



すずき しげあき
鈴木 重行 議員

問 米の需給調整が難航していますが、本町における令和8年産主食用米の作付け動向は、

町長 町では三川町農業再生協議会が主体となり、山形県が示す生産の目安に基づき経営体ごとに作付面積を設定しています。

8年度の主食用米の作付け面積は水田総面積約2058haのうち57・1%にあたる約1200haとなっています。残る42・9%では麦や大豆のほか、加工用米や飼料用米の作付けが計画されています。

問 山形県では水田の簡易整備を支援していますが、大区画化へ

の町の見解は。

町長 本町でも農地の集積・集約化が進み、圃場の区画拡大を検討する農業者が増えています。



好天に恵まれ、作業も順調に進む
(イメージ)

国は「大区画化等加速化支援事業」により、農業者自らが行う畦畔の除去などの簡易整備に対して支援することとしており、現在、県が申請窓口となり要望調査が行われています。

町では、県からの説明を受けホームページや公式LINEで農業者に周知しており、今後も随時情報提供する考えです。

熱中症対策の徹底を

問

熱中症は適切な予防や対処が実施されれば重症化を防げると考えますが、町の対策は、

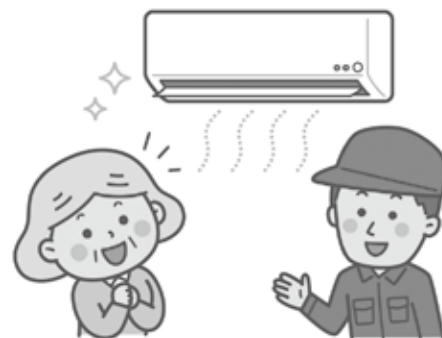
町長 近年、猛暑日が増加しており熱中症による健康被害のリスクが高まっていると認識しています。

熱中症対策としては、日頃から住民の方々に自己の健康管理の注意喚起を行うとともにクーリングシエルト（指定暑熱避難所）の指定を進め地域全体で熱中症予防に取

り組む体制を整えています。

また、町内会公民館へのエアコン整備に補助を行うなど対策を推進するとともに、地域の民生委員等と連携し、高齢者宅の見守りや声掛け活動を行っています。

引き続き国の指針に沿った対応を周知徹底するとともに、地域の実情に応じて適切な情報提供や支援体制を整え、住民の方々が安全に過ごせるよう努めます。



エアコンの適正利用の推進を

町当局による町内会運営支援策を

町長 社会福祉協議会との連携を図る



すずき じゅんし
鈴木 淳士 議員

問 近隣の自治体でも町内会解散が報じられていることから、町内会運営支援策として、介護保険制度の「通いの

場」を町内会事業に位置付け、住民と町職員との連携によって事業展開し



町長 町民参加による社会福祉協議会事業とボランティアセンター活動によって、住民福祉が展開されています。各町内会でのサロン事業展開については、受け皿の確保が課題であり、各町内会のマンパワーの確保が最大の課題と考えています。

なお、社会福祉協議会による支援体制も重要であることから、同協議会副会長である副町長からの答弁とします。

副町長 各町内会で必要とする支援内容を把握したうえで、町の事業である「コミュニティ活動支援員派遣事業」と社会福祉協議会のボランティアセンターとの連携を検討しながら支援したいと思っています。

空き家の寄附受け入れと行政代執行を

問 本町独自の空き家寄附受け入れ条例を活用し、低価格譲渡による入居者増加策を実践すべきでは。

建設環境課長 町による有効活用を前提として寄附受け入れることとしていますので、慎重に判断すべきものと考えています。

問 国が示す解説では、「特定空家等」に

抵当権が設定されていても行政代執行は可能とあります。

迷惑な老朽危険空き家は、早期に解体すべきでは。

町長 空家等対策協議会における検討や代執行に要する予算は議会による議決を経るなど、慎重な対応が必要であると考えます。



町内会の「困りごと」補助を柔軟に

企画調整課

◎第3期『Mターン戦略』

重点施策である産業団地の売却状況や、テオトルタウン第2期造成を視野に入れた移住・定住促進策について説明を受けました。

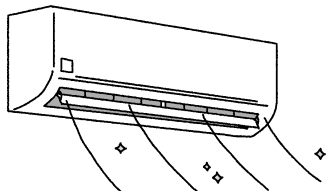
◎町内会の困りごと支援

多様化する地域課題へ柔軟に対応していくため、これまでの「協働のまちづくり推進事業」を刷新し、

①困りごと解決、

②公民館エアコン設置の

2つの補助金を制度化。中長期的な支援の在り方や、町内会の維持に向けて議論がありました。



総務課・危機管理室

◎避難所運営マニュアル

地区ごとに避難所運営協議会を設置し、そのなかで開設手順等を盛り込んだマニュアルを策定する方針などの説明がありました。

◎消防団・自主防災組織

消防団員を募集しても増えない現状や、高齢化を踏まえた自主防災組織の在り方について意見が出されました。

町民課・会計課

◎マイナンバーカード

の更新手続き

イオンモール内郵便局での対応等、さらなる利便性向上に向け意見を交わしました。

◎税収の状況

農業所得の増加等が影響し個人町民税が前年比プラス1.3億円となったこと等、昨年度のデータが示されました。

教育委員会

◎中学校部活動

現状や運営の課題など説明がありました。

◎保幼小連携架け橋プログラム

他自治体に先駆けて取り組んでおり、園児による小学校訪問や体験入学などを通じて、就学へ円滑に移行できるよう、関係者が連携しているとの説明を受けました。



6/18 視察研修報告

株式会社ヨロズグローバル
エンジニアリングセンター
(三川町青山)

工場内を見学しながら設備の説明を受けました。また、若手社員の定着に向けた取組や採用における課題について伺いました。

町へ寄附していただいたクマ捕獲用の箱わなについては、高度な加工技術を生かした製造上の工夫を伺いました。



猟友会の意見を参考に開発したクマの箱わな

計画策定に こども・若者の声を



健康福祉課・子育て支援室

◎「こども計画」策定に向けたアンケート調査

小5・中2と保護者、高校生年代から29歳までの若者を対象とした生活状況や意識調査の結果が示されました。計画策定までの流れについて説明を受け、当事者の声を生かした子育て施策の充実について意見を交わしました。

◎5歳児健診

来年度からの実施に向け、関係機関との連携を進めていくとの説明を受けました。

◎母子保健事業の講座

などをテオトルで開催し、将来的な利用促進につなげていく方針が示されました。また、ファミリーサポートの必要性について意見を交わしました。

建設環境課

◎クマ対策

対応マニュアル整備や、職員の役割分担、猟友会・警察との連携について説明を受けました。

◎空き家対策

伴走型の相談支援により、相続権者と丁寧な連絡・調整を進めた結果、早期解体につながった事例などが報告されました。

産業振興課・農業委員会

◎ふるさと応援寄附金

総務省の制度変更で生じる課題など説明がありました。

◎イベント運営の今後

菜の花まつりや納涼祭の運営に、高校生や大学生を巻き込んだ協力体制が作れないか等、多くの意見が出されました。



◎商工業者の人手不足

国の賃上げ支援制度は利用しづらいとの声があり、町の実情に応じた支援策の充実や、地元回帰を促す給付型奨学金の検討を求める意見が出されました。

社会福祉法人 月山福祉会

(鶴岡市中野京田)

法人設立からの事業展開の経緯や利用状況について説明を受け、ペットボトルリサイクルの作業所などを見学しました。障がい者の就労支援における工賃向上の取組や、農福連携、放課後等デイサービス事業との連携について説明を伺いました。



ペットボトルリサイクル事業の作業所を見学



がんばってます

みかわdeマルシェ

『手仕事』で町に賑わいと笑顔を



みかわdeマルシェは、三川町在住のママたちが中心となって二〇一七年に発足したマルシェです。町の賑わいづくりを目的に、「手仕事」を通して日常に「ちよつとステキ」を届けたいという想いから活動が始まりました。

した。地域の人が気軽に集まり、交流できる場所を作りたいという願いも込められています。これまで、菜の花まつりやイオンモール三川などで開催し、幅広い年代の方にご来場いただいています。

会場は、ハインドメイドの雑貨やアクセサリー・焼き菓子などが並びます。また、ワークショップでは、子供から大人まで実際に「ものづくり」を体験していただき、毎回多くの笑顔が生まれています。



準備や運営は大変なことが多いですが、「楽しかった」「また来たい」と喜んでいただけた声を聞くと、大きなやりがいを感じています。マルシェを通して、来場者の方とはもちろん、出店者同士の会話から新しいつながりや地域の輪も広がっているように感じます。また、それぞれの作品に込めた想いやこだわりを直接伝えられるのも対面イベントの魅力だと思います。

これから地域に寄り添いながら、笑顔が広がるようなあたたかいマル

横山小学校 相撲大会
(写真 佐竹 優子)



表紙の写真

シェを目指して活動していきたいと思っています。
みかわdeマルシェ代表
本間 美穂

編集室

田んぼ一面に青々と育つ稲が風に揺れ、本格的な夏の訪れを感じる季節となりました。日に日に力強く生長する姿に、生産者の皆さまのご尽力をあらためて感謝しております。

「議員と語る会」や「小学生との議場懇談会」では多くのご意見を伺いました。その思いを形にできるよう、丁寧に向き合っています。

町民の皆さまから寄せていただく声を力に、これからも地域に寄り添った活動を続けてまいります。暑さ厳しき折、熱中症に気を付けて、どうぞ健やかに過ごしてください。

佐竹 優子

発行責任者
議会議長 町野 昌弘
編集 広報常任委員会
委員長 砂田 茂
副委員長 鈴木 重行
委員 鈴木 淳士
委員 小野寺正樹
委員 土田 市子
委員 佐竹 優子